2013年2月期 第1四半期決算説明資料

株式会社ジェイプロジェクト（3063）

2012年7月25日

目次

1. 第 1 四半期 連結決算概要

連結損益計算書概要 ---------- 4

連結貸借対照表概要 ---------- 5

セグメント別業績概況 ---------- 6

飲食事業の業態分析 ---------- 7

2. 第 1 四半期トピックス

過去最高の第 1 四半期売上高を達成 ---------- 9

J-Value の継続により FL コストを低減 ---------- 10

硬式野球部の活躍によりメディア掲載が増加---------- 11

既存店収益状況 ---------- 12

2 店舗を新規出店 ---------- 13

店舗数の推移 ---------- 14

3. 今後の取り組み

関東地方へ集中出店 ---------- 16

地方中核都市への出店 ---------- 17

新規ブライダル施設が営業を開始 ---------- 18

今期の業績見通し ---------- 19

1. 第 1 四半期 連結決算概要

連結損益計算書概要

（百万円）

	2012年2月期 第1四半期実績	構成比 (%)	2013年2月期 第1四半期実績	構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	2,167	100.0	**2,413** ①	**100.0**	111.3
売上原価	650	30.0	**717**	**29.7** ②	110.3
売上総利益	1,517	70.0	**1,695**	**70.3**	111.8
販売管理費	1,549	71.5	**1,661**	**68.9**	107.3
営業利益または営業損失	△32	―	**33** ③	**1.4**	―
営業外収益	83	3.9	**23**	**1.0**	27.7
営業外費用	20	0.9	**20**	**0.8**	99.5
経常利益	31	1.4	**36**	**1.5**	116.8
特別利益	92	4.3	**0**	**0.0**	0.6
特別損失	27	1.2	**0**	**0.0**	1.6
税金等調整前四半期純利益	96	4.5	**36**	**1.5**	38.0
四半期純利益	48	2.2	**17**	**0.7**	36.2

①昨年の東日本大震災の影響から回復し、第1四半期実績として過去最高の売上高を計上。

②野菜価格の高騰等により、飲食事業単独での原価率は25.7%となり前年同期比0.7ポイントの増加。

③過去最高の売上高、J-Valueによる継続的なコスト低減により大幅な黒字転換を達成。

連結貸借対照表概要

（百万円）

	2012年2月期 期末	2013年2月期 第1四半期末
【資産の部】		
流動資産	960	**882**
現金及び預金	423	**299**
売掛金	257	**306**
原材料及び貯蔵品	60	**61**
その他	218	**215**
固定資産	5,477	**5,539**
有形固定資産	3,960	**4,005**
建物及び構築物	2,593	**2,543**
土地	1,131	**1,131**
その他	236	**330**
無形固定資産	31	**30**
投資その他の資産	1,484	**1,503**
資産合計	6,437	**6,422**

	2012年2月期 期末	2013年2月期 第1四半期末
【負債の部】		
流動負債	2,118	**1,945**
買掛金	358	**330**
短期借入金 ※一年内返済予定長期借入金との合計	821	**819**
その他	938	**795**
固定負債	2,748	**2,857**
長期借入金	2,442	**2,568**
その他	306	**289**
負債合計	4,867	**4,803**
【純資産の部】		
株主資本	1,566	**1,620**
資本金	748	**766**
資本剰余金	678	**696**
利益剰余金	215	**232**
自己株式	△76	**△76**
その他の包括利益累計額	3	**△0**
純資産合計	1,570	**1,619**
負債純資産合計	6,437	**6,422**

セグメント別業績概況

（百万円）

		2012年2月期 第1四半期実績	2013年2月期 第1四半期実績	前年同期比（%）	ポイント
飲食事業 居酒屋、レストラン等での飲食サービスの提供	売上高	2,006	**2,206**	110.0	震災の影響から回復し、売上高は好調に推移。継続的なJ-Valueの推進により原価・経費の適正化も進み黒字転換を達成。
	営業利益	△42	**11**	—	
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	71	**91**	127.6	7月1日オープンの新規施設「Lucent Mariage Tower」の開業準備を進め、売上高の向上によりオープン準備費用をカバーし黒字転換を達成。
	営業利益	△0	**0**	—	
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	49	**66**	132.3	「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS 刈谷」などのテナント収入は引き続き堅調に推移。
	営業利益	3	**9**	294.0	
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	131	**168**	127.9	子会社ジェイトレードの取扱高は引き続き順調に増加し、増収・増益を達成。
	営業利益	6	**7**	123.6	

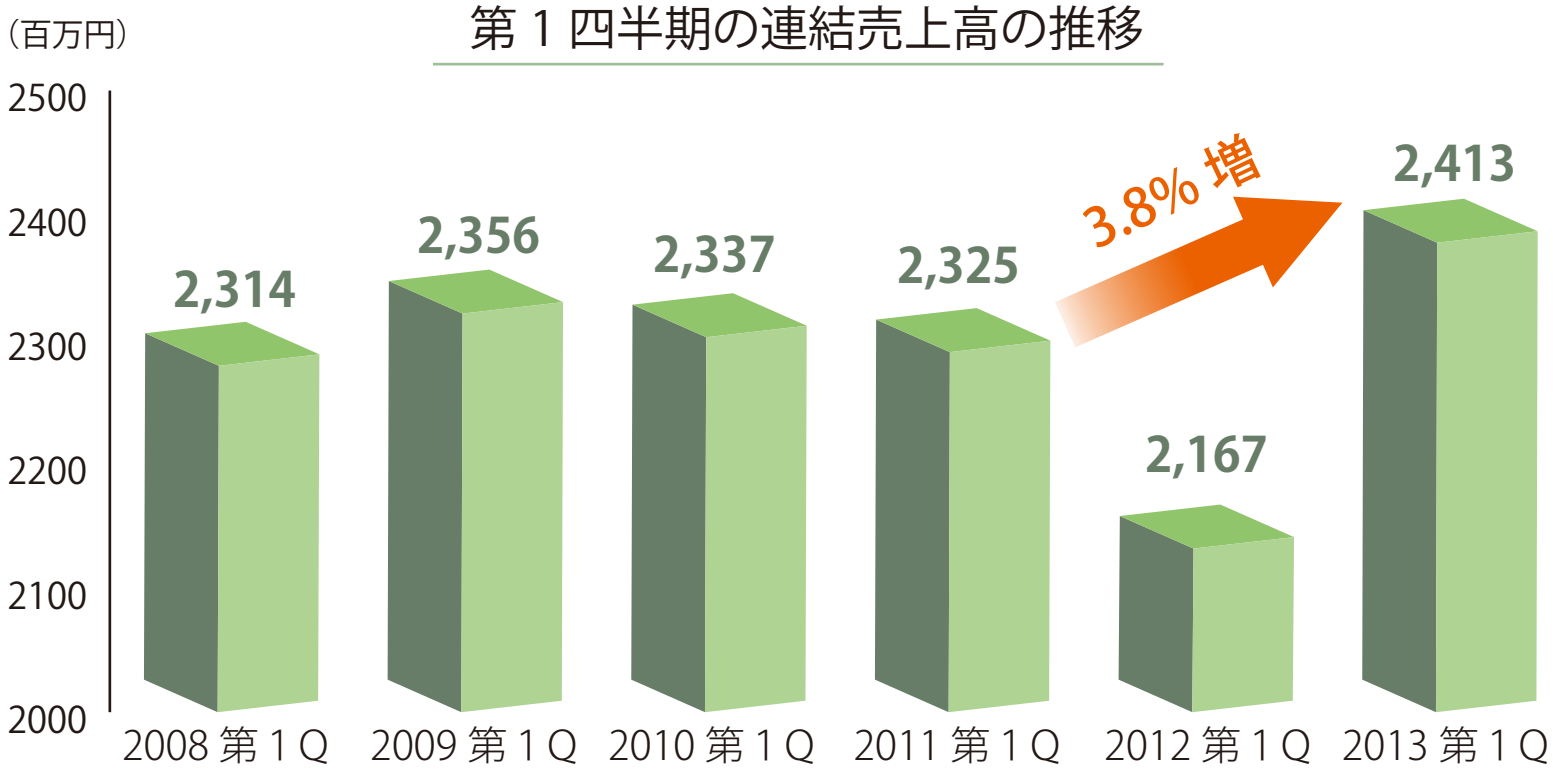
飲食事業の業態分析

（百万円）

業態区分		2012 年 2 月期 第 1 四半期実績	2013 年 2 月期 第 1 四半期実績
居酒屋業態	売上高	1,486	**1,691**
	営業利益 （本部経費配賦前）	164	**236**
レストラン業態	売上高	194	**255**
	営業利益 （本部経費配賦前）	△28	**8**
SC 業態	売上高	244	**215**
	営業利益 （本部経費配賦前）	21	**14**

2. 第１四半期トピックス

過去最高の第 1 四半期売上高を達成



震災前の 2011 年 2 月期 第 1 四半期との比較でも売上高は 3.8% 増

震災の影響があった前期と比較して、売上高は 11.3% 増と順調に回復。震災の影響のない前々期との比較でも、売上高は 3.8% 増となり、過去最高の売上高を達成。

J-Value の継続により FL コスト※1 を低減

J - Value の推進

1．営業支援室による店舗管理の徹底

▶ コスト削減案の共有と浸透が進む

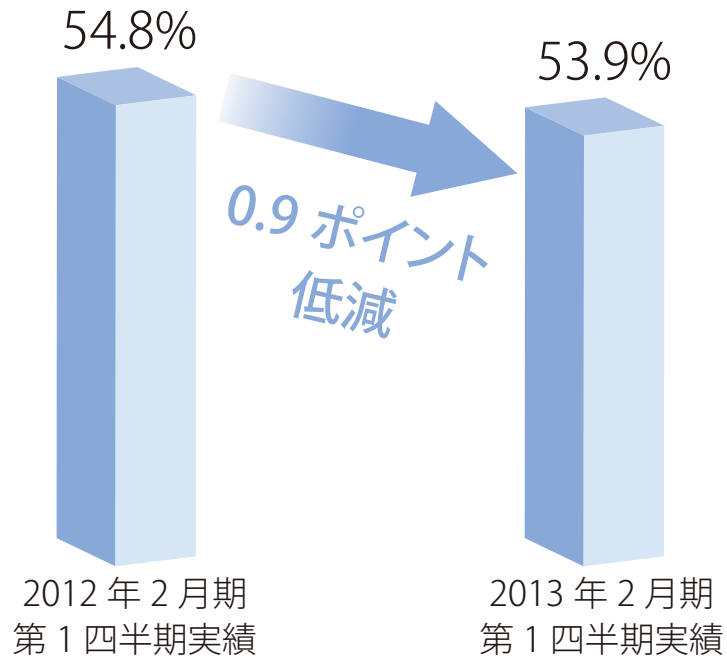
2．GM 制度の更なる拡大

▶ GM 店舗を 71 店舗へ拡大

3．J トレードによる仕入業務の効率化

▶ 取扱高が大幅に増加し
コスト低減に寄与

GM 制度導入店舗※2 の FL コスト比率



※2 新規店舗・リニューアルを除き、前期と比較が可能な店舗を集計

前期末の「FL コストの 2% 削減」達成後も継続的な取り組みを実施

※1 Food（材料費）＋Labor（人件費）の売上高に占める比率

硬式野球部の活躍によりメディア掲載が増加

5 月に予選が開始された都市対抗野球大会での活躍により**メディア掲載が大幅に増加**

都市対抗野球本戦へ
32 チーム中 唯一の初出場





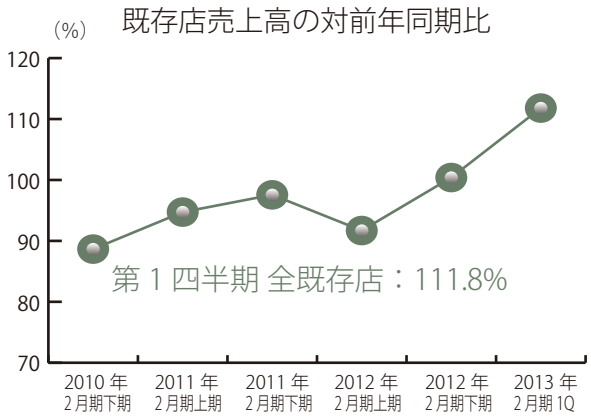


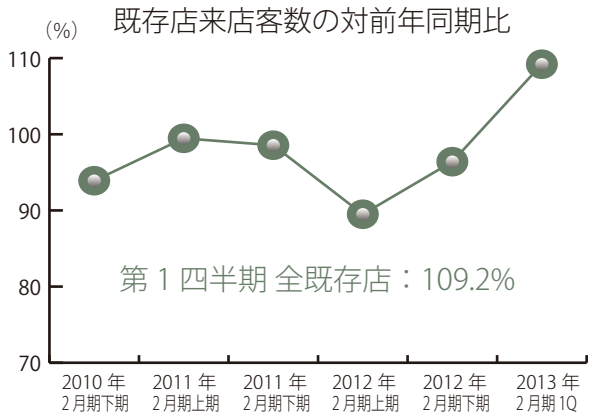
メディアへの掲載実績

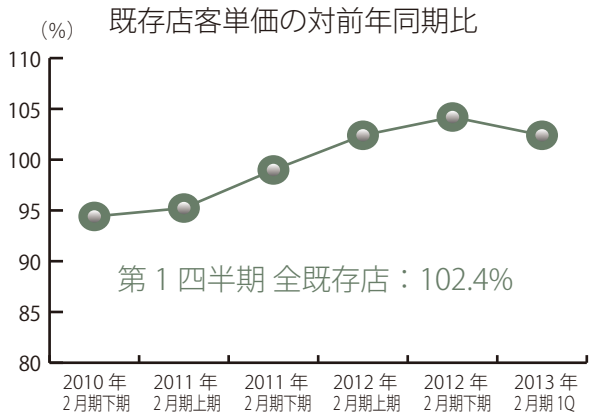
掲載メディア	掲載日
中日スポーツ	5月22日
中日スポーツ	6月9日
毎日新聞	6月9日
中日スポーツ	6月15日
毎日新聞	6月21日
毎日新聞	6月25日
毎日新聞	6月29日
毎日新聞	7月1日
西日本スポーツ	7月4日
中日スポーツ	7月4日
中日新聞	7月7日
日本経済新聞	7月10日
日本経済新聞	7月12日

掲載メディア	掲載日
毎日新聞	7月12日
毎日新聞（夕刊）	7月12日
スポーツニッポン	7月13日
中日スポーツ	7月13日
毎日新聞	7月13日
中日スポーツ	7月14日
日本外食新聞	7月15日
スポーツニッポン	7月18日
中日スポーツ	7月18日
中日新聞	7月18日
毎日新聞	7月18日
毎日新聞（夕刊）	7月18日
TBS「ｻﾝﾃﾞｰﾓｰﾆﾝｸﾞ」	7月22日

既存店収益状況







		2011年							2012年		2012年2月期実績				2013年2月期第1四半期実績
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	4月	5月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	100.2%	96.7%	102.2%	99.0%	99.6%	102.9%	102.4%	103.7%	103.7%	98.3%	128.9%	101.3%	101.2%	109.6%
	来店客数前年同月比	99.4%	95.4%	100.0%	98.2%	97.7%	100.5%	100.8%	103.6%	103.3%	97.8%	123.2%	99.6%	100.0%	106.9%
	客単価前年同月比	100.8%	101.4%	102.2%	100.8%	101.9%	102.4%	101.6%	100.1%	100.4%	100.5%	104.6%	101.7%	101.2%	102.5%
レストラン業態	売上高前年同月比	99.4%	113.3%	89.6%	96.4%	97.5%	98.4%	105.7%	101.3%	85.7%	89.4%	166.1%	164.4%	115.6%	145.0%
	来店客数前年同月比	97.4%	106.2%	87.2%	93.8%	93.4%	89.4%	98.1%	99.6%	82.9%	83.3%	192.0%	224.5%	108.2%	159.7%
	客単価前年同月比	102.1%	106.7%	102.8%	102.7%	104.4%	110.0%	107.8%	101.7%	103.4%	107.2%	86.5%	73.2%	106.8%	90.8%
SC業態	売上高前年同月比	91.1%	98.2%	85.8%	93.1%	89.8%	91.9%	96.9%	100.5%	96.8%	92.0%	106.1%	99.0%	95.5%	100.5%
	来店客数前年同月比	90.0%	93.5%	81.0%	86.2%	84.0%	88.0%	90.2%	94.6%	87.7%	88.3%	97.6%	90.6%	86.1%	91.7%
	客単価前年同月比	101.3%	105.0%	105.9%	108.0%	107.0%	104.5%	107.4%	106.3%	110.4%	104.1%	108.7%	109.3%	110.9%	109.6%

※既存店基準：開店日より 24 ヶ月を経過した店舗を対象としております。

2 店舗を新規出店（2 店舗をリニューアル）

Publish Garden REGOLITH（新規出店・新業態）





オープン　3月1日
席　　数　80席
所 在 地　名古屋市西区

Publish Garden REGOLITH レゴリス

鉄板バル Gappo（新規出店・新業態）



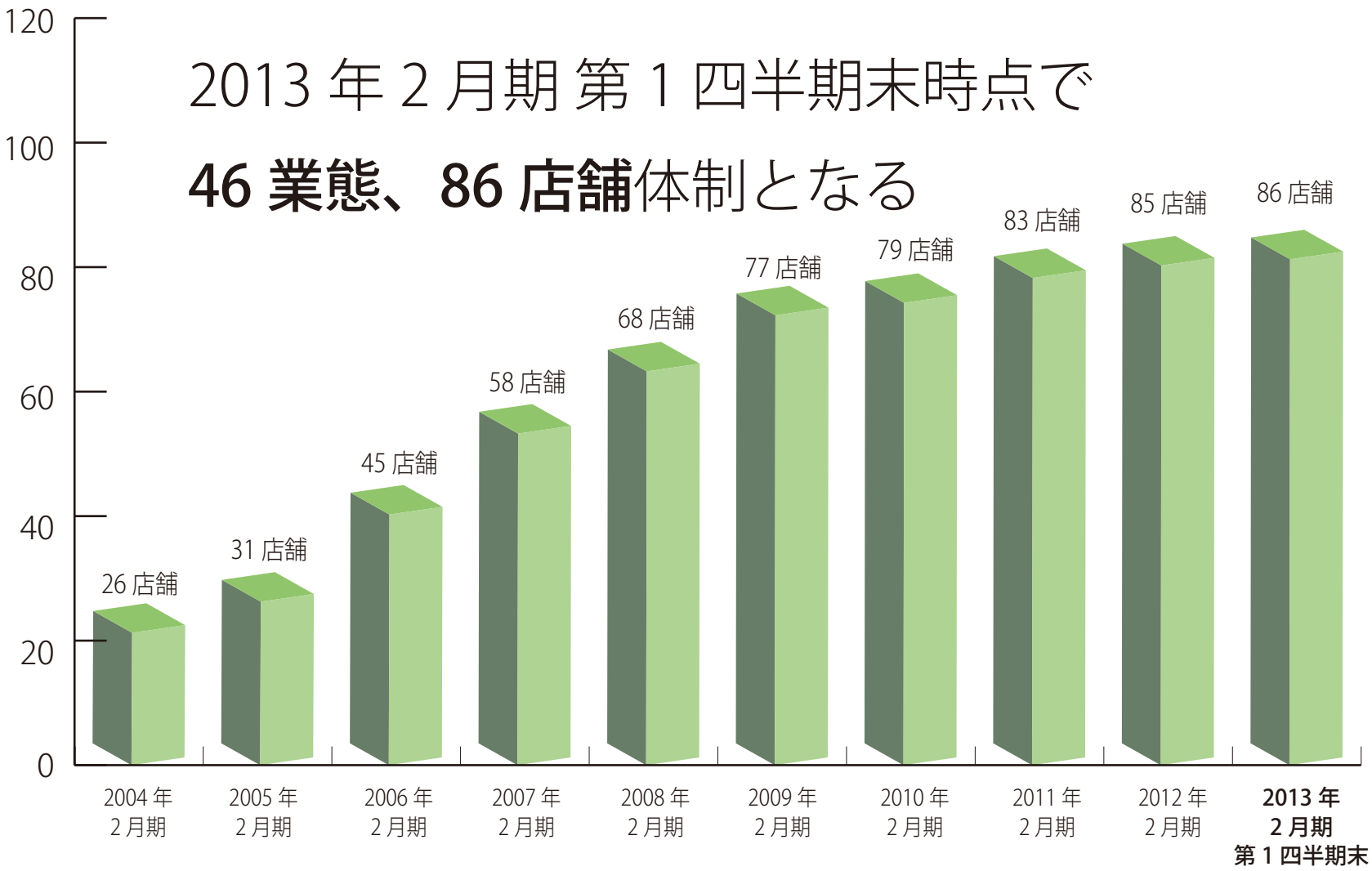




オープン　3月27日
席　　数　46席
所 在 地　東京都港区

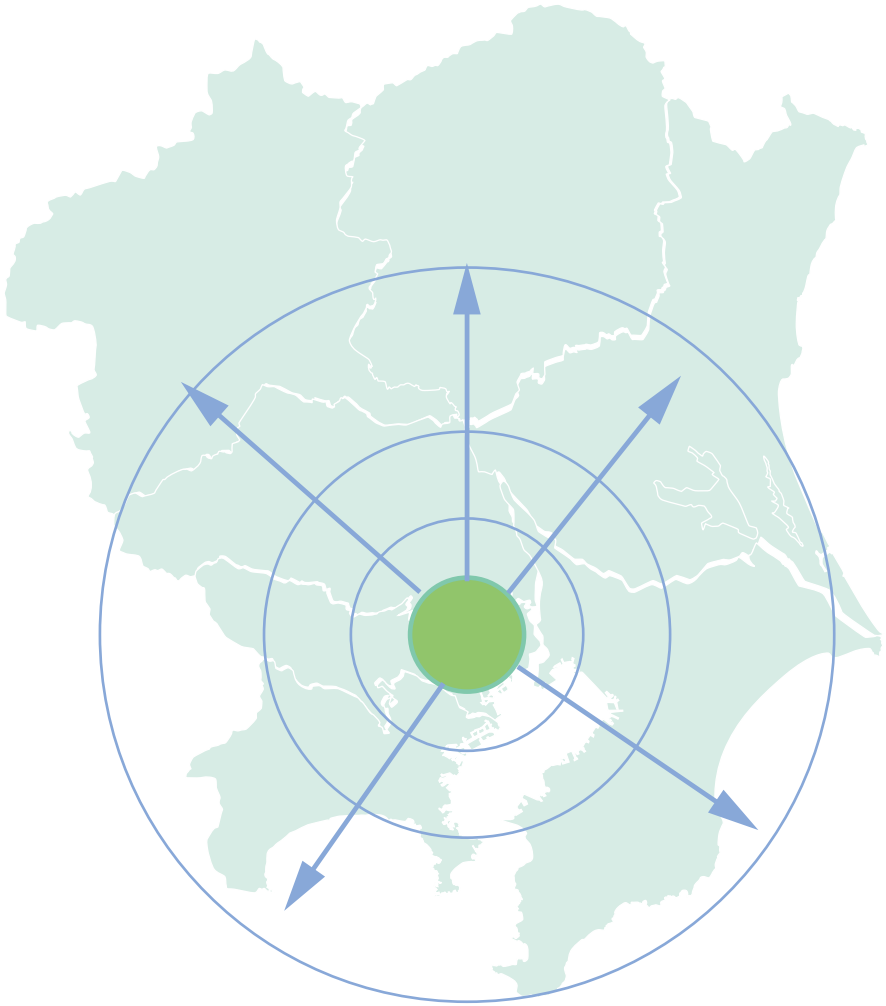
鉄板バル Gappo

店舗数の推移


2013 年 2 月期 第 1 四半期末時点で
46 業態、86 店舗体制となる
120
100
80
60
40
20
0
26 店舗
31 店舗
45 店舗
58 店舗
68 店舗
77 店舗
79 店舗
83 店舗
85 店舗
86 店舗
2004 年 2 月期
2005 年 2 月期
2006 年 2 月期
2007 年 2 月期
2008 年 2 月期
2009 年 2 月期
2010 年 2 月期
2011 年 2 月期
2012 年 2 月期
2013 年 2 月期 第 1 四半期末

3. 今後の取り組み

関東地方へ集中出店（第３四半期以降）

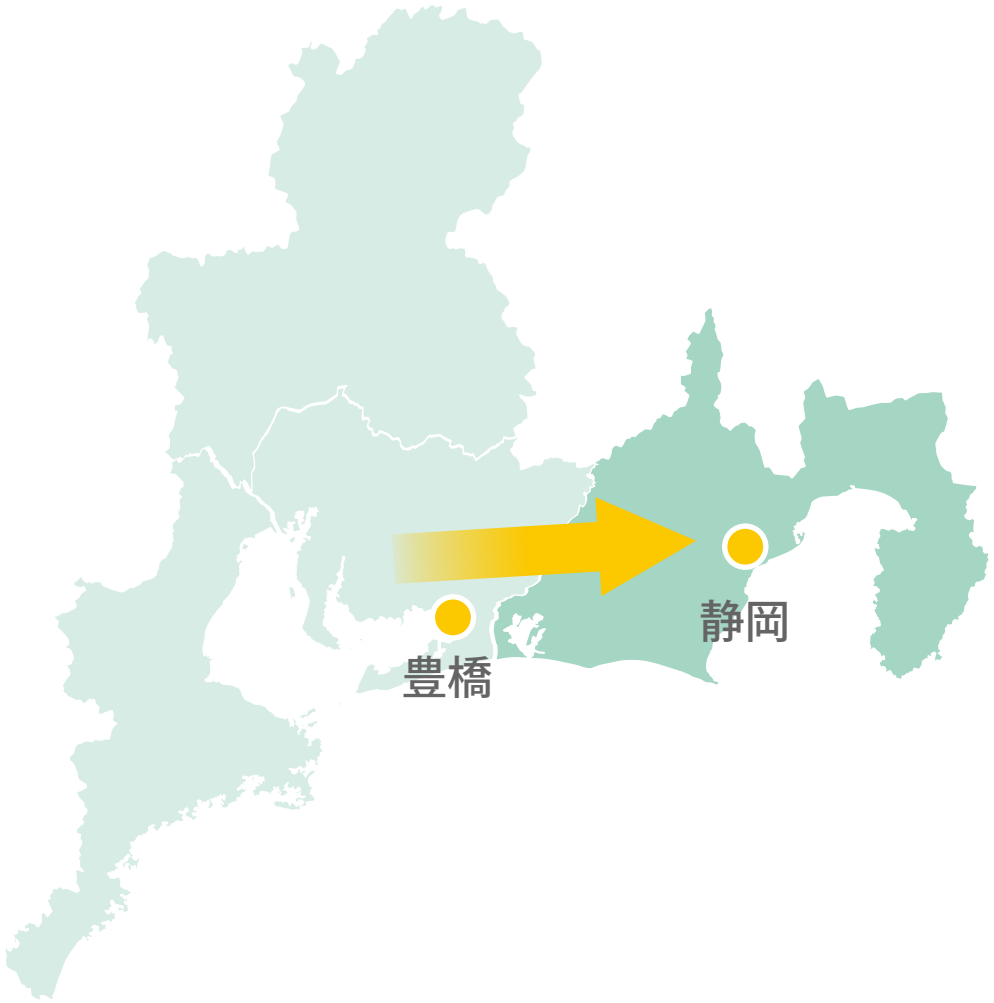


ドミナント＋地方主要駅

- 従来の山手線内へのドミナント出店は継続。
- 「芋蔵 蒲田西口店」の成功から、出店候補地を山手線外へ向かう私鉄・地下鉄などの主要駅へ拡大。

出店機会の増加につながり、第３四半期以降、関東地方へ５店舗を出店予定。

地方中核都市への出店（第 3 四半期以降）



東海地方でも地方中核都市へ出店

- 東海地方においても、十分な商圏が見込める地方中核都市へ出店候補地を積極的に拡大。

出店機会の増加につながり、初進出となる静岡への出店が決定。
第 3 四半期以降に豊橋 2 店舗・静岡 2 店舗の合計 4 店舗を出店予定。

新規ブライダル施設が営業を開始

名古屋で最も高い地上 180m のスカイチャペル「LUCENT Mariage Tower」が 7 月 1 日にオープン



最上階 40 階スカイチャペル



最上階 40 階バンケット

名古屋駅直結の立地に加えて、地上 180m という景観の価値を追求

事前予約は堅調に推移し、オープン経費をまかない初年度から利益を計上予定。通年での営業は来期となるので、本格的な収益寄与は 2014 年 2 月期を予定。

今期の業績見通し

（百万円）

	2012年2月期 通期実績	2013年2月期 業績予想	前年同期比 （%）
売上高	9,514	**10,007**	105.2
営業利益	219	**262**	119.4
経常利益	266	**197**	73.9
当期純利益	122	**82**	66.9

【ＩＲに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイプロジェクト
経営企画室　広報・ＩＲ課
TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイプロジェクトが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。
また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。